



## 2010年2月期 第3四半期決算短信

2009年12月25日

上場会社名 株式会社 サンデー 上場取引所 JQ  
 コード番号 7450 URL <http://www.Sunday.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 和田 正徳  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 成澤 真一 TEL (0178) 47-8511  
 四半期報告書提出予定日 2009年12月28日

(百万円未満切捨て)

### 1. 2010年2月期第3四半期の連結業績(2009年2月21日 ~ 2009年11月20日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期(当期)純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
2010年2月期第3四半期	37,626 -	6 -	86 -	149 -
2009年2月期第3四半期	40,542 -	415 -	507 -	380 -

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益
	円 銭	円 銭
2010年2月期第3四半期	13 86	- -
2009年2月期第3四半期	35 37	- -

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2010年2月期第3四半期	32,613	7,388	22.7	686 71
2009年2月期	32,898	7,273	22.1	675 94

(参考) 自己資本 2010年2月期第3四半期 7,388百万円 2009年2月期 7,273百万円

### 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2009年2月期	-	0 00	-	3 00	3 00
2010年2月期	-	0 00	-		
2010年2月期(予想)				0 00	0 00

### 3. 2010年2月期の連結業績予想(2009年2月21日 ~ 2010年2月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
通 期	51,300 ( 3.4)	172 ( - )	112 ( - )	84 ( - )	7 81

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） 無
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
（注）詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更（四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの）
- |              |   |
|--------------|---|
| 会計基準の改正に伴う変更 | 有 |
| 以外の変更        | 無 |
- (4) 発行済株式数（普通株式）
- |                    |             |               |             |
|--------------------|-------------|---------------|-------------|
| 期末発行済株式数（自己株式を含む）  |             |               |             |
| 2010年2月期第3四半期      | 10,764,700株 | 2009年2月期      | 10,764,700株 |
| 期末自己株式数            |             |               |             |
| 2010年2月期第3四半期      | 5,025株      | 2009年2月期      | 4,546株      |
| 期中平均株式数（四半期連結累計期間） |             |               |             |
| 2010年2月期第3四半期      | 10,759,836株 | 2009年2月期第3四半期 | 10,760,476株 |

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記予想数値は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、今後様々な要因によって実際の業績と異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件等については4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

#### (1) 経営成績に関する分析

当第3四半期連結累計期間における東北地域の経済は、昨年来の経済環境の悪化に伴う企業業績の悪化や雇用情勢の厳しさに加え、デフレ傾向が強まる状況のもと、個人消費も生活必需品に至るまで節約志向が続いております。更に暖冬の影響を受け、企業間の販売競争が激化する厳しい経営環境となりました。

このような経営環境の下、お客さまの生活応援に向けてイオンのプライベートブランド「トップバリュ」の「ベストプライス by トップバリュ」商品やお買得価格でご提供する選抜特価「とびきり価格」など安さの訴求の取組みによる生活応援をまいりました。また、当社は、マイカード会員様への取組みといたしまして「お客さま感謝デー」の販促強化や、月1回の「ビッグサンデー」企画導入により、生活応援に注力してまいりました。

「安全・安心」意識の高まりによる家庭菜園の用土、肥料などの園芸用品や収穫用品への取組み強化により、園芸資材、塗料、暖房関連、日用品は好調に推移いたしました。

安さ訴求により一人当たりお買上点数は、既存店前年同期比 103.2%と健闘したものの、一品単価の下落により客単価は既存店前年同期比 96.9%となり、客数の減少も重なり売上高の計画を下回りました。

当社グループの店舗数は、(株)サンデーのホームセンター46店舗、イオンスーパーセンター(株)へのコンセッションナリー参画15店舗、子会社の(株)ジョイ19店舗で合計80店舗となっております。

このような営業施策を行った結果、当第3四半期連結会計期間の売上高は376億26百万円となりましたが、既存店前年同期比は、93.3%と前年を下回りました。売上総利益は、トップバリュ商品拡販や、定番棚割りの見直しなどによる商品の値入率改善により0.5ポイントの荒利益率改善ができましたが、売上高減少により計画を下回りました。販売費及び一般管理費では、人件費・販売促進費・設備費・一般費ともに徹底したコントロールで前年同期より9億69百万円の削減ができました。この結果、営業損失は6百万円(前年同期より4億9百万円の改善)、経常損失は86百万円(前年同期より4億21百万円の改善)、四半期純利益は、店舗閉鎖損失引当金戻入額などの特別利益3億9百万円を計上し、1億49百万円(前年同期より5億29百万円の改善)となりました。

前年同四半期増減率、金額は参考として記載しております。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

#### (1) 財政状態に関する分析

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、減価償却による有形固定資産の減少2億77百万円、及び差入保証金の回収による投資その他の資産の減少2億72百万円などにより、前連結会計年度末に対して2億85百万円減少し326億13百万円となりました。

負債については支払手形及び買掛金が9億6百万円増加しましたが、短期借入金の減少2億54百万円、ポイント引当金の減少1億11百万円、長期借入金の減少8億20百万円などにより、前連結会計年度末に対して4億円減少し252億24百万円となりました。

純資産については配当金の支払いがありました。四半期純利益1億49百万円の計上があり、前連結会計年度末に対して1億15百万円増加し73億88百万円となりました。

## （2）キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計期間末残高に比べ1億73百万円増加し、10億11百万円となりました。

### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は12億20百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益1億92百万円に加え、減価償却費5億55百万円、たな卸資産の増加額1億97百万円、仕入債務の増加額9億6百万円等によるものであります。

### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果得られた資金は60百万円となりました。これは主に新店投資に伴う有形固定資産の取得による支出2億30百万円、無形固定資産の取得による支出14百万円、差入保証金の回収による収入1億96百万円、貸付金の回収による収入1億13百万円等によるものであります。

### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動に使用した資金は11億7百万円となりました。これは主に短期借入金の純増額1億50百万円、長期借入金の返済による支出12億24百万円、配当金の支払額32百万円等によるものであります。

## 3．連結業績予想に関する定性的情報

通期業績予想については、第4四半期も厳しい経済環境が続くことが予想されます。売上高確保が例年にも増して厳しいことを想定し、営業時間の変更や店舗戦略に基づく販売促進計画の見直しで販売費及び一般管理費の更なる削減に取り組んでまいります。また、基幹システムの本格的稼働で、より細かな52週マーチャンダイジングの深耕による売上高確保とイオングループとの共同仕入、メーカーとのタイアップ強化、トップバリュ商品の販売拡大に努めるとともに、商品管理の徹底による売価変更やロス削減を行ない、荒利益高の改善を図ってまいります。

以上により、通期業績予想につきましては、2009年4月6日付の「2009年2月期決算短信」発表時に公表いたしました「2010年2月期の連結業績予想」について変更はありません。

## 4．その他

### （1）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### 1．たな卸資産の評価方法

たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

#### 2．一般債権の貸倒見積高の算定方法

第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

#### 3．法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付額の算定については、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法により算出しております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用し

た将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(2) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

1. 四半期財務諸表に関する会計基準の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

2. 「たな卸資産の評価に関する会計基準」の適用

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、売価還元法による原価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことに伴ない、売価還元法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。これによる損益に与える影響は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年11月20日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年2月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,126,572	953,099
受取手形及び売掛金	414,006	317,871
商品	10,252,974	10,063,006
繰延税金資産	121,226	195,133
その他	485,047	567,065
貸倒引当金	137	3,267
流動資産合計	12,399,690	12,092,909
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,100,902	8,388,908
機械装置及び運搬具(純額)	34,022	39,655
土地	8,534,607	8,535,731
建設仮勘定	900	4,599
その他(純額)	144,417	123,743
有形固定資産合計	16,814,850	17,092,638
無形固定資産		
のれん	127,753	153,474
その他	171,981	187,728
無形固定資産合計	299,735	341,203
投資その他の資産		
投資有価証券	115,874	123,280
長期貸付金	1,085,394	1,195,187
繰延税金資産	94,757	20,851
差入保証金	1,431,363	1,620,626
その他	401,066	441,713
貸倒引当金	29,002	29,452
投資その他の資産合計	3,099,454	3,372,205
固定資産合計	20,214,039	20,806,048
資産合計	32,613,730	32,898,957

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年11月20日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年2月20日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,914,167	7,007,850
短期借入金	9,948,676	10,202,776
未払法人税等	52,907	71,818
賞与引当金	107,100	104,997
店舗閉鎖損失引当金	24,456	57,860
ポイント引当金	148,004	259,007
リース資産減損勘定	19,736	27,309
その他	1,165,823	1,060,703
流動負債合計	19,380,872	18,792,323
固定負債		
長期借入金	4,795,392	5,615,936
退職給付引当金	425,979	368,688
債務保証損失引当金	63,122	66,432
役員退職慰労引当金	80,858	80,059
店舗閉鎖損失引当金	114,698	319,830
長期リース資産減損勘定	32,067	45,931
その他	331,939	336,438
固定負債合計	5,844,058	6,833,317
負債合計	25,224,931	25,625,640
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,240,218	3,240,218
資本剰余金	3,254,597	3,254,597
利益剰余金	902,910	786,036
自己株式	3,795	3,536
株主資本合計	7,393,930	7,277,315
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	5,204	4,056
評価・換算差額等合計	5,204	4,056
少数株主持分	73	58
純資産合計	7,388,799	7,273,317
負債純資産合計	32,613,730	32,898,957

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年2月21日 至平成21年11月20日)
売上高	37,626,766
売上原価	27,686,019
売上総利益	9,940,747
販売費及び一般管理費	9,947,268
営業損失( )	6,520
営業外収益	
受取利息	10,457
受取地代家賃	57,810
受取手数料	62,276
その他	12,765
営業外収益合計	143,309
営業外費用	
支払利息	181,583
賃貸費用	22,558
その他	18,665
営業外費用合計	222,807
経常損失( )	86,018
特別利益	
固定資産売却益	5,000
貸倒引当金戻入額	450
役員退職慰労引当金戻入額	3,445
店舗閉鎖損失引当金戻入額	186,043
債務保証損失引当金戻入額	3,309
ポイント引当金戻入額	110,917
特別利益合計	309,165
特別損失	
固定資産除却損	917
店舗閉鎖損失	19,078
投資有価証券評価損	9,012
店舗閉鎖損失引当金繰入額	143
減損損失	1,118
特別損失合計	30,270
税金等調整前四半期純利益	192,876
法人税、住民税及び事業税	43,698
法人税等合計	43,698
少数株主利益	14
四半期純利益	149,163

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年2月21日 至平成21年11月20日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純利益	192,876
減価償却費	555,392
減損損失	1,118
のれん償却額	25,720
貸倒引当金の増減額(は減少)	3,579
有価証券評価損益(は益)	9,012
賞与引当金の増減額(は減少)	2,102
債務保証損失引当金の増減額(は減少)	3,309
退職給付引当金の増減額(は減少)	57,291
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	799
ポイント引当金の増減額(は減少)	111,002
店舗閉鎖損失引当金の増減額(は減少)	238,537
有形固定資産除却損	917
受取利息及び受取配当金	12,468
支払利息	181,583
固定資産売却損益(は益)	5,000
売上債権の増減額(は増加)	96,134
たな卸資産の増減額(は増加)	197,113
仕入債務の増減額(は減少)	906,317
その他	181,845
小計	1,447,831
利息及び配当金の受取額	8,717
利息の支払額	180,727
法人税等の支払額	55,800
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,220,021
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	230,691
有形固定資産の売却による収入	5,000
有形固定資産の除却による支出	100
無形固定資産の取得による支出	14,745
貸付けによる支出	930
貸付金の回収による収入	113,964
差入保証金の差入による支出	6,119
差入保証金の回収による収入	196,825
その他	2,689
投資活動によるキャッシュ・フロー	60,513

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年2月21日 至平成21年11月20日)
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入金の純増減額（は減少）	150,000
長期借入金の返済による支出	1,224,644
自己株式の取得による支出	258
配当金の支払額	32,159
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,107,062
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	173,472
現金及び現金同等物の期首残高	838,099
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,011,572

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

（4）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（5）セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

当第3四半期連結累計期間（自平成21年2月21日 至 平成21年11月20日）

当社グループは、ホームセンター事業の売上高、営業利益の金額が全セグメントの売上高合計、営業利益の金額の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

〔所在地別セグメント情報〕

当第3四半期連結累計期間（自平成21年2月21日 至 平成21年11月20日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

〔海外売上高〕

当第3四半期連結累計期間（自平成21年2月21日 至 平成21年11月20日）

海外売上高はないため、該当事項はありません。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) 第3四半期連結損益計算書

科 目	前中間連結会計期間 (自 2008年2月21日 至 2008年11月20日)		
	金 額 (千円)	百分比	
<b>売上高</b>		40,542,553	100.0
<b>売上原価</b>		30,041,723	73.9
売上総利益		10,500,829	26.1
<b>販売費及び一般管理費</b>		10,916,496	26.3
営業損失 ( )		415,666	0.2
<b>営業外収益</b>			
受取利息	12,177		
受取賃貸料	61,813		
受取手数料	42,336		
受取配当金	4,379		
その他	50,891	171,599	0.3
<b>営業外費用</b>			
支払利息	214,033		
賃貸費用	36,486		
その他	13,184	263,704	0.6
経常損失 ( )		507,771	0.4
<b>特別利益</b>			
債務保証損失引当金戻入益	4,081		
閉店損失引当金戻入益	32,400		
地役権設定益	34,175		
前期たな卸資産評価損戻入益	11,767		
未払賃借料戻入益	53,617	136,341	0.3
<b>特別損失</b>			
固定資産売却損	31,862		
固定資産除却損	2,091		
その他	122	34,077	0.1
税金等調整前中間純損失 ( )		405,507	0.2
税金費用		111,058	0.4
少数株主利益		86,113	0.2
中間純損失 ( )		380,561	0.0

## (2) 第3四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前中間連結会計期間 (自 2008年2月21日 至 2008年11月20日)
区分	金額(千円)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失( )	405,507
減価償却費	532,388
のれん償却額	9,495
閉店損失引当金の減少額	65,386
棚卸資産の増加額	1,030,518
仕入債務の増加額(減少額)	675,242
その他の	60,605
小計	344,891
利息の支払額	223,310
法人税等の支払額	73,624
その他の	13,295
営業活動によるキャッシュ・フロー	628,531
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	1,511,862
無形固定資産の取得による支出	99,458
貸付金の純増減額	108,403
差入保証金の純増減額	89,609
その他の	1,826
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,591,440
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増額	715,000
長期借入金の純増額	1,779,186
自己株式の純増額	119
配当金の支払額	53,566
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,440,500
現金及び現金同等物の増加額	220,528
現金及び現金同等物の期首残高	742,408
現金及び現金同等物の中間期末残高	962,936